

理数科1年生 蒜山研修

令和4年7月27日(水)～29日(金)に理数科1年生75名が蒜山研修を行いました。

今年度は1泊3日で、最初の2日間は蒜山周辺でフィールドワークを行い、3日目は校内で研修活動を行いました。

1日目は、津黒高原で里山の自然観察、岩石調査、水質調査、神庭の滝でニホンザルの行動観察を行いました。夜は大阪大学から講師をお招きし、「ニホンザルの社会にみられる地域間差異：密な社会と疎な社会」という題目で講演を聴いてサル社会から人間の社会を深く考えました。



2日目は、地学実習と一宮チャレンジ研修でした。午前中は、大学教授の指導の下、採土場で火山灰層と珪藻土層の観察を行い、午後は班員とコミュニケーションをとりながらストロー斜塔を制作して競いました。

3日目は、学校に場所を移し、蒜山での2日間の研修で経験した内容の中から一つを取り上げ、そのことについて班のメンバーと協力して、自分たちの考えをまとめ、作成したポスターを使い、互いの意見を発表しあいました。

この3日間の研修を通して、情報分析活用力、コミュニケーション力は勿論、自主性や創造性、好奇心などの自律的に行動する力を伸ばすことができました。



【参加した生徒の感想】

- * 『一つのことを考える際に一つの情報から判断するのではなく様々なデータを比較して研究することの大切さを学ぶ事ができた。まとめる際の情報の選択も同じ班の人と意見を出し合い、より良い発表をすることができた。』
- * 『協力して物事に取り組む協調性や自分で物事を考える考察力が身についた。蒜山研修を通して自分は一段階成長することが出来た。』
- * 『班で活動を進める中で問題解決能力やコミュニケーション力が身についた。また、ポスター発表をして、プレゼンテーション能力が身についたと思う。普段体験できないことを多く体験できたし、協力して頑張ったことで、ストロー斜塔とポスター発表どちらも一位を取る事もできた良い研修になったと思います。』